

令和元年第3回木津川市議会定例会（9月9日）

一般質問通告書

1	酒井 弘一
質問事項：選挙の投票率を引き上げる	
質問要旨	7月の参議院選挙は、4月の木津川市の選挙に続き投票率が50%を切るという大変残念な結果に終わりました。 (1) 選挙管理委員会は、この事態を重大な問題と受け止めていますか。 (2) 投票率を上げるため、瓶原や当尾のような広い地域、また有権者数が5000人に達するような地域は複数の投票所に分けるべきですか。 (3) 期日前投票所は複数あります。そのうち市役所とその他では実施期間に差があります。他の場所も市役所と同様の実施期間にすべきですか。 (4) 参議院選挙の開票中間発表で、1回目と2回目で候補者の順位が逆転する場面がありました。本来避けなければならない事態であり、どう総括しているのですか。
質問事項：保育の待機解消	
質問要旨	市は今議会に幼保窓口一本化を中心とする組織変更を提案しました。しかし、市の保育、幼稚園教育の最大の課題は待機問題です。その取り組みが見えません。 (1) 今回の組織変更のメリットは何ですか。特に11月実施には大きなデメリットがあります。あえて11月に実施するメリットは何ですか。 (2) 保育の待機解消は、これまでの方針通り「企業型保育」などいわゆる小規模保育施設で行うのですか。認可保育園の増設や存続が必要ですか。
質問事項：職員のやる気を引き出すには	
質問要旨	今回、会計年度任用職員制度という全く新しい職員雇用の形態が提案されました。働き方改革を前進させ、職員のやる気を引き出す結果につながればと願い質問します。 (1) 会計年度任用職員制度のメリットは何ですか。また雇用者としての市が留意すべき事項は何ですか。 (2) 市は、今年度から5年間の「第3次定員適正化計画」を発表しました。そこでは正規職員数をさらに減らすとしています。一般職員、再任用職員、会計年度職員を合わせた総体の職員をどのように考えるのですか。 (3) 現在、職員の給与2%カットが行われています。市はカット分の回復措置をどう準備しているのですか。

2	谷口 雄一
質問事項：幼児教育・保育の無償化に向けて万全の対応を	
質問要旨	本年10月から予定されている幼児教育の無償化は、子育て世帯に対する負担の軽減と、全ての子どもが質の高い教育・保育を受けられるようになることが期待されています。ただし、市民の方からは、非常に関心が高い施策でありながら、詳しい内容や仕組みが分かりにくい、とのご意見をお聞きするところです。 制度導入まで間近となり、改めて現状の取り組みについて、以下のとおり質問いたします。 (1) 本市における無償化の内容は。 (2) 保護者への周知は。説明会等の実施状況や今後の予定は。 (3) 給食費等の実費徴収分の取り扱いにより、保護者負担が増額になると想定されるケースはあるのか。 (4) 行政、事業者ともスムーズな導入に向けての準備状況はどうか。 (5) 本年度を含め次年度以降について、無償化に伴う市の負担分の見込みは。 (6) 無償化により今後に期待される効果、もしくは今後の課題等、現状の認識はどうか。

	<p>質問事項：受動喫煙対策の強化を</p> <p>本年7月より、望まない受動喫煙の防止を図るため、健康増進法の一部を改正する法律が施行されました。多くの施設を管理する行政においては、施設の類型に応じて、敷地内禁煙、原則屋内禁煙といった措置を講じることが法律上の義務となりました。</p> <p>法律の全面施行となる来年4月に向けて、より具体的な対策の強化が必要と考え、以下の通り質問いたします。</p> <p>(1) これまでの取り組みはどうか。特に健康への影響が大きいとされる子どもたちが利用者となる施設（学校・保育所・こども園等）の対応は。</p> <p>(2) このたびの改正を受けて実施した具体的な対策は。</p> <p>(3) 民間施設や、店舗、医療機関、公共交通機関に対しての周知啓発や連携した取り組みは。</p> <p>(4) 受動喫煙対策につき、市としての責務をどのように考えているのか。また、今後の方針は。</p>
--	---

	<p>3 玉川 実二</p> <p>質問事項：教育改革について問うⅡ</p> <p>激しく変わりゆく社会において、子供たちは基礎・基本の学力を身につけること、感謝の気持ちを持ち他者を思いやり利することのできるような人間力を育むこと、そして教育する側としては、子供たちの将来を見通した教育改革を推進していく必要があります。</p> <p>今回も6月定例会の質問に続き、教育改革についてご質問させて頂きます。</p> <p>質問内容については、令和元年度重点取り組み事項でもある下記について、先日公表されました全国学力学習状況調査の結果などを含めご質問させて頂きます。</p> <p>(1) 学力をはぐくむ (資料：生きる力をはぐくみ新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して、より質問) ① 「個性を最大限に伸ばす教育の推進」→具体的な施策は。 ② 「社会総がかりで子供を守り育てる」→現状の取り組みは。 ③ 「教育施策の成果と課題を検証し」→施策に対しての成果は、課題は。 ④ 「個々の児童生徒に視点をあて」→具体的な方策は。 ⑤ 全国学力学習状況調査の経年変化は。対前年度比の成長率は。 ⑥ 中学3年生の英語調査結果は。</p> <p>(2) 魅力ある学校・園づくり ① 特色ある学校づくり推進事業とは。 ② 校種間連携（保幼小中高大等）についての具体的方策は。</p> <p>(3) 教育施策のご提言</p> <p>質問事項：行財政改革について問うⅡ</p> <p>市民との対話、ボランティアや議員活動などを通して、改めて第3次行財政改革の重要性を痛感しています。行財政改革は、大綱にも示されている通り現世代だけでなく子や孫の未来につなぐ取り組みであるべきです。そして、より良いまちづくりのために、持続可能な行財政基盤の構築が急務であると考えます。</p> <p>今回も6月定例会の質問に続き、行財政改革についてご質問させて頂きます。</p> <p>質問内容については、第3次木津川市行財政改革大綱等により下記についてご質問させて頂きます。</p> <p>(1) 普通交付税合併算定替終了対策における目標として、2021年度において3.5億円以上の改革効果を創出とあるが、歳入増、歳出減の主な内容は。 (2) 行財政改革行動計画2018年度の結果と評価は。 (3) 生産年齢層の減少、扶助費（義務的経費等）の増大→財政面での余裕がなくなる。→市民サービスへの影響→停滞・衰退化のスパイラルを変える方策は。 (4) 木津川市SDGs（持続可能な開発目標）を歳入増の観点で設定してはどうか。 特に「住み続けられるまちづくりを」についてタスク・チームの結成を。</p>
--	---

(5) トップ・プライオリティー（優先順位）の取り組みについて地域長等との定期会合や見える化・アカウンタビリティー（説明責任）を果たす行動計画を立案してはどうか。

	4 倉 克伊
	質問事項：市民の安心・安全に向けて
質問要旨	<p>近年の異常気象は、過去の数値を大きく超え、しかもその頻度も増えてきています。もはや、これらは異常気象ではなく普段から起こりえる状況になっているように思えます。</p> <p>昨今の台風・集中豪雨・地震など、災害状況を考えると、以前にもまして備えることが重要で、私たちが出来る範囲でも、被害を未然に少しでも縮減することはできます。</p> <p>そこで、今、取り組んでいる施策も重要なものであり、その施策と今後の展望を問う。</p> <p>(1) 耐震補強及びブロック塀等緊急安全対策支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 今日までの活用状況は。 ② その分析と利用促進に向けたPRは。 ③ 今後の補助制度はどうなるのか。 <p>(2) 山城町上狹・椿井東部地域のため池の安全確保と水路整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 平成30年に当時の上狹高麗水利組合の役員が来庁され、要望などの話し合いがされ、口頭ではあったが、田護池の安全の確保と水利の整備を要望されたと聞くが、その後の進展は。 ② 新設される「城陽井手木津川線」と関連して、水利整備の要望をという声も聞くが、市の考え方と、国への要望は。 <p>(3) 市民から提出された「メガソーラー設置規制条例」の制定を求める請願について、市議会で、全会一致で採択したことなどに対し、市長は、市民の生命財産を守ることが第一であり、重く受け止めると発言された。条例制定に向けた現在の状況は。</p>
	質問事項：学研木津東地区の将来の展望について
質問要旨	<p>URのニュータウン開発計画の事業中止を受け、「木津川市学研木津北・東地区都市利用計画」において、「民間事業者の意欲を引き出しながら、良好な環境の創出や都市と田園が共生するまちづくりの誘導するエリアと位置付ける」とあるが、なかなか具体的な進展が見えない。</p> <p>平成29年に地権者に「将来の木津東地区の土地利用について」のアンケートを実施。平成30年9月に東地区内のUR所有の土地の譲渡決定、第2次総合計画に「主として、文化学術総合施設や研究開発型産業施設などの集積を図る地区などとともに、良好な環境の創出を誘導するエリアとしての土地利用を検討する」とあり、本年度には「まちづくり勉強会」を開催し、事業中止後、長い間の停滞から、木津東地区が将来に向けようやく動き出したと思える。そこで次のことを質問する。</p> <p>(1) 本年度開催の「まちづくり勉強会」の概要と参加状況は。 また、参加者の意見内容とその対応は。</p> <p>(2) 本年度開通予定の天神山線（木津東バイパス）から木津川架橋、また、その先の城陽井手木津川線の事業化決定も含め、当該地区にはプラス要因があると考えるが、それらも踏まえた将来展望やスケジュールは。</p> <p>(3) 市内の貴重な大規模開発可能地域であり「事業用、住宅用、農地等」の多様な可能性を残す地域と考える。時期を逸しないよう、事業化を進められることが最善と考えるがどうか。</p>

5 炭本 範子

質問事項： 幼保無償化を問う

質 問 要 旨	いよいよ幼保無償化が10月から実施されます。幼稚園や認定こども園の教育費、保育園の保育料が補助されます。消費税2%増税の税収の一部が充てられ、7764億円が見込まれています。子育て支援No.1を目指す市にとってはどうなっていくのか、質問します。
	(1) 平均的な家庭の現状はどうなのか。
	(2) 手続きはどうするのか。
	(3) 保護者にとってはありがたいことですが、国の助成額はいくらになるか（公立保育所、幼稚園、3～5歳児、0～2歳児）。また、他の認定こども園との違いはあるのか。延長保育についてはどうか。
	(4) 現在、給食費は保育料に含まれているが、今回の補正予算により親の負担を軽減することができるのか。
	(5) 待機児童がより増えるのではないかと考えるがどうか。
	(6) 令和2年度からの市の負担はどうなっていくのか。

質問事項： 地域要望から

質 問 要 旨	1 高齢者の免許証自主返納者が増えています。特典と優遇制度をもっと手厚くしてはどうか。
	2 国道163号と市道加1-1の変則交差点の改良工事後、市道を横切る通学路に児童が気をつける、注意喚起を促すものがないとの問題がでています。通学路にしっかりととした表示をしてほしいとの声を聞きますが、市の対応は。
	3 広域的な観光事業として「京都やましろ観光」「お茶の京都DMO」があります。京都南部を結んだものであります。加茂町の恭仁宮跡から山城町にかけて、サイクリストや歩く人を多く見かけます。また、新しい架橋が開通し、犬打峠のトンネル事業も進み車も増えます。国道163号に歩道が必要と思うが、市の考えは。

令和元年第3回木津川市議会定例会（9月10日）

一般質問通告書

1	兎本 尚之
質問事項：道路整備は必要不可欠	
質問要旨	<p>総合計画や都市計画マスタープランに位置づけされている道路の整備は、市の更なる発展のためには必要不可欠であると考えております。次の点について質問します。</p> <p>(1) 都市計画決定道路に城陽井手木津川線が追加されたが、現在、市内に何本の都市計画決定道路があり、完成している道路は何本ですか。</p> <p>(2) 一部完成している道路は何本でどこですか。また、施行者はどこで、進捗状況は。</p> <p>(3) 未完成道路は何本でどこですか。また、施行者はどこで、進捗状況は。</p> <p>(4) 木津地域と加茂地域をつなぐ道路である府道天理加茂木津線改良の進捗状況は。また、城山台地域から加茂地域への道路構想がありますが、必要性の認識はありますか。</p>
質問事項：認知症対策について	
質問要旨	<p>政府は認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、結果として、70歳代での発症を10年間で1歳遅らせることを目指す、2025年までの認知症対策行動計画となる「認知症施策推進大綱」を決定しました。そこで質問します。</p> <p>(1) 政府の「認知症施策推進大綱」の決定を受けて、市はどのような考え方を持ち、今後どのように取り組んでいきますか。</p> <p>(2) 木津川市の取り組みと現状から市としてどのような拡充案が考えられますか。</p>
質問事項：6月定例会での代表質問・一般質問から	
質問要旨	<p>令和元年第2回定例会での代表質問・一般質問における市の答弁から確認しておきたいことがあります。3つまとめて質問します。</p> <p>(1) 大津市の交差点での事故を受けて 市内25カ所を点検し、6カ所の整備を要望したという答弁がありましたが、今後の交差点等の安全対策と予算の確保や執行などは、どのようなスケジュールで進んでいくのでしょうか。</p> <p>(2) 投票率について 国政選挙である7月の参議院議員選挙においても過半数以下（48.52%）の市内有権者の投票結果となりました。投票率・投票数に対してどのような考え方と方策を持っておられますか。</p> <p>(3) 合同樋門など樋門と内水対策について 今年度、国・府と三者で具体策の協議を行うとの答弁がありました。現在、市内に水門・樋門はいくつ存在し、水門・樋門それぞれはどのようにになっていますか。また、内水排除の状況として、それぞれの能力はどのようにになっていますか。</p>

2	森本 茂
質問事項：椿井大塚山古墳に関する諸問題について	
質問要旨	<p>3世紀の後半、山城町椿井に築かれた椿井大塚山古墳は、全長175mを測る巨大な前方後円墳である。この古墳は、黒塚古墳（天理市）と並ぶ三角縁神獣鏡大量埋納の古墳として、有名である。墳丘は、明治29年（1896）に現在のJR奈良線が敷設されたために前方部と後円部が東西に分断されました。</p> <p>現在、後円部東側は竹林に覆われ、西側の前方部は宅地化されています。</p> <p>昭和28年（1953）古墳後円部を横断する鉄道の改良工事が実施され、偶然に発見された竪穴式石室から、三角縁神獣鏡32面、画文帶神獣鏡1面、方格規短鏡1面、そして内行花文鏡2面の合計36面出土しました。これらは邪馬台国の女王卑弥呼が魏に朝貢した景初3年の年号をもつものと同時代のものであり、邪馬台国と関わりが深い鏡であることから、古代国家成立史上最も重要な遺跡のひとつとして、その地位は、不動のものとなっています。平成4年（1992）に、出土</p>

質問要旨

品・副葬品は重要文化財指定を受け、平成12年（2000）9月6日付けで墳丘の大半を含む15,715.90m²の土地が、「学史上きわめて重要な位置を占めている」遺跡として国の史跡に指定されています。

したがって、私は、この遺跡を構成する様々な要素を確実に保存し将来に伝達するとともに、来訪者に正確な情報を提供し、史跡等への理解を深めるための活用が必要であると考えています。そのためには、地域住民はもとより、多くの人々や市民が理解・学習し、憩える場としての史跡整備が必要です。

まず、JR奈良線複線化をするについては、この古墳の真ん中を通るのではなく東か西側に2線ともルート変更すべきと考えます。市長の見解をお伺いします。

また、京都大学で保管されている三角縁神獣鏡の1枚でも借りて来て、市民に見てもらえるような、「歴史博物館」を設置すべきである。市長の見解をお伺いします。

京都市に次いで文化財が多い本市が、ミュージアムを持っていないのは、悲しい。例えば廃止される木津給食センターを「歴史博物館」にして、京大の鏡が借りられない場合は、山城郷土資料館にある、山本晃久氏作の復元品2枚を借りて、見て、手にふれてもらうようにできないのか。

また、小・中学校の歴史的資料等や、本庁及び各支所の歴史的お宝もあれば展示ができるし、懸案であるいづみホールのふとん太鼓みこしもここで展示すればいいし、市の文化財に指定している中央図書館の地下に保管している鹿背山焼もここで一部は常設展示できると考えるが、市長の見解をお伺いします。

そして、この古墳の真ん中をJR奈良線が走っていることから、JR西日本は、この古墳の維持管理や安全対策に協力する義務があると考えています。年間100万円から200万円位の協力金を出していただくべきと考えます。市長の見解をお伺いします。

最後に、府道天理加茂木津線が走る安福寺前のJR奈良線のガード下の拡幅工事についても、JR奈良線複線化を待っていてはいつになることか、わからないので、前倒しで複線を想定して、先に拡幅工事の了解を取って工事を早めるべきと考えるが、市長の見解をお伺いします。

質問事項：循環型社会推進基金条例の活用と自然環境の保全及び地球温暖化対策について

質問要旨

レジ袋、ストロー、食品を入れる容器（トレー）等々。プラスチックは、われわれの生活に溶け込んでいます。国連環境計画（UNEP）によると、大量生産が始まった1950年代以降、世界のプラスチック製造量は他の素材に比べて急速に増え、2015年には年間で4億トンを超えたとのこと。内訳では包装が36%と最も多かった。このままいけば、2050年には18億トンを超える勢いであるとのこと。廃棄量も伸び続け、2015年には3億トンに達する。生態系への影響も懸念されており、年800万トン以上のプラスチックごみが海に流出している。海鳥の40%以上がプラスチックごみを誤食しており、マイクロプラスチックをのみ込んだ魚介類を人間が食べれば、体内に摂取される恐れがあり、深刻な問題である。本年5月ジュネーブで開かれたバーゼル条約締約国会議で新たにプラスチックごみを追加する条約改正案が採択された。政府はレジ袋の無償配布を禁示する新たな法令を制定する方針を決定している。

市においても、この条約の主旨に沿って、スーパー・コンビニ等のレジ袋の有料化や将来的には、提供禁止を目指さなければならないと考えます。

その中で、本市が可燃ごみ袋を有料化したことにより、循環型社会推進基金に収益が入っております。プラスチックごみ問題解決施策の1つの取り組みとして、

- (1) 小・中・幼の給食の牛乳パックについてくるプラスチックのストロー（年間150万本使用）を廃止して、金属製のストローにかえるべきだと考えます。まずは隗より始めよだと考えます。教育長の見解をお伺いします。
- (2) 亀岡市は、レジ袋有料での提供も禁止する条例を2020年度中の施行を目指すとのことと聞いておりますが、本市も将来的にはこのような条例を制定すべきと考えるが、市長の見解をお伺いします。
- (3) 本年10月1日より、消費税が2%アップして、10%となるので、低所得者世帯及び生活保護世帯には、可燃ごみ袋の減免制度を設けるべきと考えるが、市長の見解をお伺いします。

(4) 可燃ごみ袋は、現在 7ℓ、15ℓ、30ℓ、45ℓ であるが、単身世帯の高齢者などは、もっと小さい袋、例えば 3.5ℓ とか 4ℓ の袋をつくるってほしいとの要望を聞くが、つくれないのか。市長の見解をお伺いします。

(5) 京都市は、このほど地球温暖化に伴う気温上昇を抑えるため、2050 年までに市内の二酸化炭素 (CO2) 排出量を実質ゼロにする目標を打ち出された。

本市も、木津川市環境基本条例（平成 19 年 3 月 12 日）木津川市環境基本計画（平成 25 年 2 月）木津川市地球温暖化対策実行計画（平成 23 年 3 月）を策定して、先ず庁舎内の LED 化完了や、電気自動車 1 台購入や、クールビス・ウォームビズによる電気量の削減や、紙類を含む可燃ごみの削減（ペーパーレス化含む）を実施している。これを庁舎 1 階に地球温暖化への対策のモニターを設置し、啓蒙活動の促進を図るべきと考えるが、そして市民や事業者向けの地域温暖化対策実行計画も策定すべきである。市長の見解をお伺いします。そして最後に、これらの長期ビジョンに取り組むには、まちづくり改革として、「未来のまちづくり推進室」の設置を提案いたします。人類は、プラスチックを発明しましたが、地球を救える最後にして、最大の救世主も人類なのです。市長の見解をお伺いいたします。

質問事項：市民からの声

1 コミュニティバスの新規路線について

山城町から新祝園駅の路線の請願が採択されているが、新規路線として取り組んでいかれるのかお伺いいたします。また、南加茂台地域から奥畠を通り、山城郷土資料館そして木津川新架橋から JR 木津駅までの新規ルートの声もあがっていますが、取り組まれるのかお伺いいたします。

2 木津北地区は、学研開発に係る開発中止後、環境調和型研究開発ゾーンには、環境の森センター・きづがわの新クリーンセンターができ稼動していますが、その他は、4 つのゾーンに分かれ、里地里山保全と、国内第 1 号の生物多様性保全の指定を受け、それぞれ 7 年から 5 年目を迎えていますが、地元住民には目に見える成果が上がっているのか。という声にご回答ください。

3 修学旅行等で小中学生が広島に行かなくなつて 20 年位になると聞いていますが、18 歳から選挙権があり、成人も 18 歳からという動きがある中で、平和学習や主権者教育にも通じる広島原爆資料館や、江田島にある旧海軍兵学校に訪れるべきとの声がある。訪れるべきと考えるが、教育長の見解をお伺いします。また、この平和学習や体験学習への市からの補助もあってしかるべきと考えるが。お伺いします。

4 奈良市北部会館の 4 階にある北部図書館については、奈良市との連携協定により本市民も利用できるようになっているが、2 階にある奈良市北福祉センターは、高齢者に対するレクリエーション等の提供がされているので、本市の 60 歳以上の方も利用できるようにしてほしいとの声がある。市の見解をお伺いします。

5 鹿背山瓦窯にベンチや日除けテントを設置してほしいとの声があるが、史跡公園にはこれらを設置できないですか。市の見解をお伺いします。

6 城山台小学校に通う鹿背山の子供達にとっては、鹿背山瓦窯の南側の道を通り大黒屋物産、プラント、城山台小と時間が早く着けるメリットがあるが、防犯上の問題もあり、いつ通学路に認定されるのかとの声がある。教育委員会の見解をお伺いします。

7 城山台地域では今、某住宅メーカーが 263 戸の戸建てを建築中であり、ますます城山台地域の児童、生徒が増えていくが、城山台地域の保育所の需要には万全か。また、城山台小学校は、令和 3 年度末を完成予定として、第 1 段として 12 教室を建て、それでも足りない時は、第 2 段として最大 8 教室の増築を出来るように設計を行っていると聞くが、数値的根拠を示していただきたい。そして最後に、城山台放課後児童クラブですが、新たに鉄骨造 2 階建てで 4 教室、令和 2 年 2 月 28 日引き渡しとなっているが、入所クラブ児童・生徒の需要に対してキャパ的に大丈夫なのか。以上教育委員会並びに市の見解をお伺いいたします。

3 森本 隆	
質問事項：消費税引き上げ対応の準備はできているのか	
質問要旨	<p>少子高齢化社会を迎えて、健康保険、介護保険を始めとする社会保障費は年々増加している。一方、財源の確保は不十分であり、子どもたちの世代に負担を先送りしている。</p> <p>政府は、少子高齢化や財源不足といった状況に対応した社会保障とするため、現在「社会保障と税の一体改革」を行っている。</p> <p>本年、10月より、消費税を8%から10%に引き上げ、消費税率引き上げによる增收分は全て社会保障財源に充て、待機児童の解消や幼児教育無償化などの子育て世代のためにも充当し、「全世代型」の社会保障に転換する。</p> <p>このような背景のもと、市の対応を問う。</p> <p>(1) 消費税引き上げに伴う市の施策と課題は。</p> <p>(2) 国の消費税引き上げに伴う施策として、①軽減税率制度 ②プレミアム付商品券事業 ③自動車の購入支援 ④住宅の購入等の支援 ⑤キャッシュレス決済に対するポイント還元制度 ⑥マイナンバーカードを活用した消費活性策 ⑦商店街の活性化 ⑧防災・減災、国土強靭化があるが、市の具体的な取り組みは。</p>
質問事項：公共施設等総合管理計画の個別施設計画を問う	
質問要旨	<p>過去に建設された多くの公共施設が、これから大量に更新時期を迎えることになる。</p> <p>国は地方公共団体に対し、平成28年度末までに「公共施設等総合管理計画」を策定することを要請し、市は、平成29年3月に「木津川市公共施設等総合管理計画」を策定した。</p> <p>その後、国の要請では令和2年度までとされる『個別施設計画』を、市は令和元年8月に策定した。</p> <p>具体的な目標は、第一期（平成29年～令和8年）目標削減率8%、第二期（令和9年～令和18年）目標削減率18%、第三期（令和19年～28年）目標削減率28%となっており、市の具体的な取り組みが、数値目標をもとに、前倒しで計画的に進められていることを評価する。</p> <p>このような背景の中で、市の個別施設計画の基本的な考え方を問う。</p> <p>(1) 個別施設計画の推進体制とPDCAサイクルのしくみ、市民に対する見える化の取組みをどのように考えているのか。</p> <p>(2) 学校施設の個別施設計画の進捗と公表時期は。また、学校の空き教室の状況は。</p> <p>(3) 現状の地域毎の公共施設のアンバランスを是正する必要があると思うが、この個別施設計画ではどのように考えているのか。</p>

4 柴田 はすみ	
質問事項：防災対策を万全に	
質問要旨	<p>今年も台風が上陸し、市も先日の台風10号上陸の際は、早くから高齢者等の避難指示を出し、避難所を開設されました。幸いなことに大きな被害はありませんでしたが、9月は防災の月でもあり、対策の現状と課題を市の防災会や、市民と共有していくことが大切であると考えます。</p> <p>公明党としても先日、防災・減災・復興対策の推進や防災体制の司令塔機能強化などを求める提言書を官房長官宛てに提出しました。具体的には、マイタイムライン（防災行動計画）の推進や避難所などの防災拠点の耐震化をはじめ、道路、空港といった重要インフラの整備・強靭化を要望し、災害弱者などへのきめ細かな情報提供できる環境整備を求めています。また、被災地の復旧から発展までの流れを一貫して支援する「創造的復興」の実現に向けた取り組みを強く訴えています。</p> <p>市も排水ポンプの強化や、タイムライン作成など取り組んで頂いていますが、市民から届いた多くの意見から質問します。</p> <p>(1) 避難所について、多くの方から疑問の声があがっている。基本的には小学校となっているが体制は万全か。</p> <p>(2) 空調設備がない体育館を避難所と指定されているが、設置の考えは。</p> <p>(3) マイタイムライン推進の考えは。</p>

	<p>(4) 液体ミルクを備蓄する考えは。</p> <p>(5) 先日、高槻市と包括協定を結んだが、具体的な内容は。</p>
質問事項： 機構改正で子育て支援策をより充実せよ	
質問要旨	<p>今議会で保育園、認定こども園、放課後児童クラブが教育部に編成替えの議案が提出された。10月からいよいよ幼児教育が無償化となり、その手続き等も一体となって進められていくことと思うが、それぞれの保育園や幼稚園へは周知徹底されているのか。また、私は2014年9月議会の一般質問で幼稚園と保育園は一本化するべきと提案したが、検討するとの答弁で5年が経過した。私個人的には大歓迎だが、市民からは、色々な疑問点があると思うので、質問する。また、国では、子供の貧困対策が強化されたが、市の現状と対策を問う。</p> <p>(1) 幼児教育の無償化については、各家庭等に周知徹底できているのか。また、疑問などに対する窓口はどこか。</p> <p>(2) 保育園等が教育部に移行する上でどんな議論があったのか。</p> <p>(3) 一本化することでのメリット、デメリットは。</p> <p>(4) 子どもの貧困の現状と対策は。</p>
質問事項： 高齢者肺炎球菌ワクチン接種対象者へ再勧奨を	
質問要旨	<p>公明党は予防医療の重要性を訴え続けてきました。高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種制度も推進して実現させました。</p> <p>肺炎は高齢になるほど重症化しやすく、定期接種制度が2014年10月から開始されました。この制度は、5年間で65歳以上の全人口をカバーする経過措置期間を設け、対象者は65歳から100歳までの5歳刻みの各年齢の方で生涯に一回だけ接種が可能です。国としては65歳以上の全員の接種を目指しましたが、接種率が伸び悩んだため、本年度から5年間（2023年「令和5年度」まで）経過措置を延長することを決めました。そこで伺います。</p> <p>(1) 昨年までの接種率の内訳は</p> <p>(2) 接種率向上に向けての具体的な取り組みは。</p>

令和元年第3回木津川市議会定例会（9月12日）

一般質問通告書

1	宮嶋 良造
質問事項：市長の政治姿勢を問う	
質問要旨	<p>1 8月6日、倉林明子参議院議員と市長との面会が突如反故にされた経緯を明らかにしてください。</p> <p>2 市長が市民らと面会する基準を設けていますか。市民や来客者と面会する基準は何ですか。</p> <p>3 所信表明の「市長の仕事は、市民の皆様や市民代表である議会の皆様、専門的に研究されている学識経験者の方々、共に仕事を進める職員の声に耳を傾け、最終的な決断、意思決定を行うことである」の一文は、地方自治政治の基本である二元代表制の原則と相容れないと考えます。この一文の意図を聞きます。</p>
質問事項：ごみ袋有料化1年	
質問要旨	<p>1 ごみ袋有料化後、各種のごみ排出量はどう増減しましたか。ごみ袋有料化によって可燃ごみの減量効果はどのように現れていますか。</p> <p>2 ごみ袋有料化後、様々なごみに関する市民の声があります。それらは市長に届いていますか。</p> <p>3 市民アンケートを行い、市民の声に応える改善をすべきではないですか。</p> <p>4 有料ごみ袋は中止すべきと思うが、市の考えは。</p>
質問事項：介護保険料と国保税を引き下げよ	
質問要旨	<p>1 介護保険の在宅サービスの利用状況を見ると、要介護3以下では限度額に対する利用割合が前年に比べ減っている。利用料・保険料の負担が重いのではないですか。</p> <p>2 介護保険特別会計決算からみて、介護保険の引き下げは可能ではないですか。</p> <p>3 国保税において、子どもの均等割を軽減する措置を検討し実施すべきです。</p> <p>4 国保税の負担が生活を圧迫しています。高すぎる国保税の引き下げ、少なくとも引き上げないために一般会計からの繰り入れを続けるべきです。</p>
質問事項：コミュニティバスをもっと便利に	
質問要旨	<p>1 運転免許証を返納しづらい理由、また返納した人がどのような移動手段を願っているかを、把握されているでしょうか。</p> <p>2 高齢者、車を運転しない市民、高校生らの移動を保障するのが公共交通の使命ではないですか。利用者が減っているコミュニティバスはその役目が果たせているでしょうか。</p> <p>3 きのつバスの利用者が減り続けています。高齢者などが安心して使えるために利便性を高め、運賃を値下げすべきではないですか。</p>

2	高岡 伸行
質問事項：特定空家の解消は早く	
質問要旨	<p>平成27年5月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され、市町村が必要な対策を行ったため、法的根拠が整備されました。</p> <p>その様な中、本市では、特定空家に指定された2件の建物が山城地区にあります。</p> <p>進捗状況等、次のことについて質問します。</p> <p>(1) まち美化推進課から担当が変わり都市計画課に情報が引き継ぎされたが、これまでの進捗状況は。</p> <p>(2) 今後どのように進めようとするのか具体策は。</p> <p>(3) 特定空家の解体を進めるには、条例及び、解体費用回収要項等が必要であると考えるが、市の考えは。</p>

- (4) 少子高齢化による人口減少や建物の老朽化等の影響を受け、全国的に空家等に関する問題が発生しています。本市でも今後、高齢化が進む中、適切な管理が行われていない空家を放置しますと、防災・衛生・景観等に影響を及ぼすことが考えられます。
対策として、空家に特化した専門の担当課が必要になると思いますが、市の考えは。

3 山本 しのぶ

質問事項： 学校給食の意味を問う

- 学校給食法には、給食の目標として「学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと」とあります。そこで次の点について、質問します。
- (1) 教育委員会は、この目標についてどのように考えているのですか。
 - (2) この目標の達成のために具体的に検討・実施されていますか。
 - (3) 学校給食の現状について質問します。
 - ① 市の小中学校の子ども達の学校生活を豊かにしていますか。
 - ② 子ども達は学校給食を楽しみにしていますか。
 - ③ 子ども達は給食時間中に会話を楽しみ、社交性を養う余裕があると思いますか。
 - (4) 市は、子どもたちの声を聞き取るために、何か努力したことはありますか。なければ、子ども達に「給食アンケート」を行い、その声を新学校給食センターに反映すべきと強く求めますがどうですか。
 - (5) 平成30年度に木津第二中学校PTA役員が全校生徒に行ったアンケート調査によれば、給食時間が短いのでゆっくりと食事ができないとの回答があったと聞きます。昼食時間の延長の裁量権は、各学校長にあるとは思いますが、市全体的な改善を推進することを求めるが教育委員会の考えは。

質問事項： 学校給食と地産地消について

- 学校給食法には、「栄養教諭が学校給食の指導を行うにあたっては、学校が所在する地域の産物を活用すること、当該地域の食文化、食に係る産業又は自然環境に対する児童又は生徒の理解を図るよう努めること」とあります。そこで次の点について、質問します。
- (1) 教育委員会は、この目標についてどのように考えていますか。
 - (2) 教育委員会は、この目標の達成のために何か検討・実施されていますか。
 - (3) 今年、小学校の保護者から教育委員会に地産地消の促進の要望がありましたか。
 - (4) 学校給食における、野菜・米の年間費用はどのくらいですか。また、その一部を市の農家や商工会に直接注文することは意味があることだとは思いませんか。
学校給食に食材を納品したいと希望している農家がありますか。
また、その食材の安全性や供給量についてはどうですか。

質問事項： 放射線副読本について

- 2011年3月の東京電力福島第一原発発電所の事故から8年半の月日が経ちました。
事故により放出された放射性物質は除染や自然減衰により、放射線量が下がった地域もありますが、未だに福島県の大部分を占める山林等の汚染は進まず、ホットスポットも存在します。子ども達、特に福島県の子ども達には正しい放射線教育は絶対に欠かせないものです。
文部科学省は経済産業省と共同で2010年に刊行した原子力副読本を原発事故後に回収し、2011年10月に新たに副読本「放射線について考えよう」を刊行しました。しかし、多くの批判が寄せられ2014年には文科省はこの副読本を改訂しました。
昨年2018年に文科省は約2億円かけて再度副読本の改訂を行ないました。しかし、その内容は多くの批判を浴びています。そのような中、滋賀県野洲市教育委員会では、再改訂版の放射線副読本は、福島第一原発事故の困難な生活状況や心情に配慮せず、安全性を強調していることを問題視し、回収を進めているとの報道がありました。そこで次の点について質問します。

- (1) 本市は、再改訂版放射線副読本（以下「副読本」）をどのように取り扱っていますか。
- (2) 「副読本」の活用目標は何ですか。
- (3) 「副読本」の内容について確認されましたか。

質 問 要 旨	(4) 「副読本」の内容について専門家等から批判があることはご存知ですか。
	(5) 放射線を正しく理解するには、専門知識が必要ですが、「副読本」を学校で配布し、授業で使う場合には事前に十分な準備が必要だと思いますが、その体制はどうなっていますか。
	(6) 副読本の活用に関して、たとえそれが文科省からのものであっても、教育委員会独自の対応が可能ですか。教育長の考え方を聞きます。

4 西山 幸千子	
質問事項： 新学校給食センターで市が目指しているものは	
質 問 要 旨	1 新学校給食センターの建設状況はどうなっていますか。2月の引き渡し後、センターの試運転はどのように行われますか。新学期の給食提供までのスケジュールはどうですか。 2 3つの学校給食センター独自の特徴や良さを引き継ぐことも必要だと思います。新学校給食センター稼働後は、市内すべてを統一メニューにするのですか。また、統一メニューにした場合、どの程度「地産地消」を進めることができますか。山城学校給食センターが今まで取り組んで来た「地産地消」は引き継げますか。 3 新学校給食センターではアレルギー対応をどの程度考えていますか。アレルギー対応も統一すると聞いていますが、その場合、加茂学校給食センターで対応されていたレベルが下がることになりますか。どのように考えているのですか。今実際に該当する児童の保護者への説明をどのようにしていきますか。
質問事項： 一人暮らしの高齢者への見守り	
質 問 要 旨	全体としては人口が増えている木津川市でも、高齢化が進む地域もあり、一人暮らしの高齢者が増えてきます。 (1) 一人暮らしの高齢者への見守り活動の現状として、「日常の見守り」、「災害や緊急時の見守り」、「病気や介護状態になった時」など、どのようなものがありますか。民生委員さんの役割も大きいと思いますが、地域によって担当数に差がありませんか。 (2) ある程度元気で身の回りのことができていても、高齢になると思わぬケガや発病で激変する場合が多く見受けられます。元気なうちからあらかじめ本人が相談できる窓口や、援助が必要になった時などスムーズに知らせたり提供したりする仕組みが必要ではないですか。 (3) パソコンを利用せずホームページを見ない、目が悪くなり市広報を読まなくなった高齢者へのお知らせや、周知方法を考えていますか。 (4) 避難時の判断に迷う場合が多く、8月の台風10号の時も「高齢者は避難するように言われたが、どうしたら良いのかわからない」との声を聞きました。実際には個々の判断となり、避難者は市内でも16世帯22人でした。今後の課題だと考えますがいかがですか。
質問事項： 歩いて楽しめる当尾に	
質 問 要 旨	1 赤田川の水質改善は進んでいますか。地元の不安を取り除く努力が見えにくいままです。説明はどの程度の範囲と回数で行っていますか。また地元説明会でどのような意見や質問がされましたか。そして、それへの回答は済ませましたか。 2 当尾をウォーキングの聖地と位置づけながら、「山の家」の廃止などで歩きづらい道が増えています。以前、里道に「通行禁止」の看板が掲げられていた事がありました。里道の保全はどうなっていますか。淨瑠璃寺近辺で野犬を見かけますが、認識していますか。市としての対応は。

令和元年第3回木津川市議会定例会（9月17日）

一般質問通告書

1	大角 久典
質問事項：平和推進事業の充実を	
質 問 要 旨	<p>1 現在、本市には「非核・平和宣言都市のまち」と書かれた啓発看板等が10カ所あります。中には、文字が消えかかっているものや、さびついているものもあります。いつ頃、何のために建てられたのか。また、新しく建て替えの考えはありますか。</p> <p>2 8月6日から13日まで、本庁1階の住民活動スペースで平和展が開催されていました。私も初めて見に行きましたが、戦時中の写真や体験者の手紙などが展示されていました。毎年いろいろと工夫し、開催されていることだと思います。この展示に、関心を示しておられる市民の皆さんが多くおられると思いますが、今回の来場者数は。また、イベントについての提案として、戦時中の遺留品や戦争の怖さを訴えるものがあれば、もっとインパクトがあると思いますが、市の考えは。</p> <p>3 平和教育の一環として各小中学校の授業では、現在どのような取り組みをされているのか。また、今後修学旅行先に広島・長崎を取り入れる考えはありますか。</p> <p>4 今年で74回の終戦記念日を迎える。8月15日は、日本人として絶対に忘れてはならない日であり、平和を決意する日だと思います。我が公明党は、今年も全国各地で終戦記念日の街頭演説会を開催し、平和を訴えかけてきました。</p> <p>改めて本市として平和推進事業を、どのように進めていこうと思いますか。</p>
質問事項：中学校の教育行政を問う	
質 問 要 旨	<p>1 来年の4月から所得に応じて私立高校の授業料無償化が予定されています。中学3年生の受験生を抱える保護者から具体的な制度を教えて欲しいとの声を聞きます。来年度受験を迎える中学生や保護者に対して、どのように周知する予定ですか。</p> <p>2 中学校の部活動指導者は、部活動が終わった後も、子どもたちの安全を守るために、交差点など危険な場所で見守りをしています。その後も、事務作業をするので帰宅が遅くなると聞きます。教職員の負担軽減のため対策を進めることが必要であると考えます。現在の部活動指導者の配置の状況は。</p> <p>3 給食費を公会計化する考えは。</p>
2	河口 靖子
質問事項：施設の利活用を問う	
質 問 要 旨	<p>本市は、公共施設の老朽化対策が必要な中、厳しい財政状況と今後の人口減少や少子高齢化による人口構造の変化に対応するため、「木津川市公共施設等総合管理計画」を平成29年に策定しました。今後、この計画に基づき、市の公共施設を長期的な視点で、廃止又は更新・統廃合・長寿命化等が行われると思います。</p> <p>そのような中で、計画の対象施設には、加茂地域の施設も多くあり、特に南加茂台小学校は、最大児童数1,413人から現在167人と極端に減少しており、地域住民も統廃合の対象となるのではないかと危惧する声を聞きます。</p> <p>また加茂地域の商業施設は減少してきており、運転免許証を自主返納する高齢者も多い中で、木津地域に大型商業施設が建設されてもコミュニティバスの運行もなく、取り残されていくのではないかとの不安の声を聞きます。</p> <p>一方で、現在の市の高齢化率は、24.0%となっており、その中でも加茂圏域は40.4%と非常に高い状況となっています。</p> <p>高齢化が最も進んでいる加茂圏域をどのように活性化するのかと併せて、次の施設の利活用計画や今後の管理計画の進捗状況について問います。</p> <p>(1) 市の中で最も高齢化が進んでいる加茂圏域の活性化は。</p>

質 問 要 旨	(2) 加茂プラネタリウム館（平成30年3月31日廃止） (3) 加茂青少年山の家（平成30年3月31日停止） (4) 旧加茂清掃センター跡地 (5) 加茂プール（平成29年3月31日廃止） (6) 南加茂台保育園（令和6年いづみ保育園に統廃合） (7) 南加茂台小学校
	質問事項：市文化財の保存活用を問う
	木津川市内には、国宝6件、特別名勝1件を含む国指定文化財60件をはじめ、京都市に次いで多くの国宝・重要文化財があります。これらの文化財が、常に身近なものとなるには、親しみ、楽しむ環境が整えられなければなりません。そうすれば、一層の愛情をもって文化財を守り伝えることができると思います。
	そのためには、文化財を保存・管理・展示する施設の建設が望まれますが、教育委員会の考えは、また、8月22日に高槻市と本市との包括連携協定が締結されましたが、連携事業の1つに「歴史文化を通じた交流に関するこことあります。
	この連携事業は、大変意義の深いものと考えますが、市としての歴史文化をどのように発信し、連携していくのかを問います。

3 伊藤 紀味枝

質 問 要 旨	質問事項：木津駅東の今後のまちづくりは
	平成31年3月に策定された第2次総合計画にかかわって、木津川市のまちづくり、とりわけ木津駅東の状況について質問します。
	(1) 平成21年3月に策定された第1次総合計画の将来像として「水・緑・歴史が薫る文化創造都市」の実現に向けてとあり、平成23年6月には「都市計画マスタープラン」では「人、自然、文化、調和と発展のまち・木津川市」つくりを目指すと目標が掲げられています。
	その中では、木津駅東地域については「木津駅東市街地整備ゾーン」と位置づけ、都市的サービス機能の整備を目指して検討を進めるとあります。また、「当地域は市街化の整備を進めることで木津中央地区との相乗効果により、中心都市拠点（市役所から駅前へ）の機能の強化が期待できるために、市街地の形成に向けた協議を地域住民の方と進めます」とあり、木津東西線整備や生活道路として駅東・駅西前広場アクセス道路整備、天理加茂木津線整備などを推進するとの記述がありました。
	そして、平成28年3月に都市計画マスタープラン後期計画がでした。前期で示されたものとほぼ同様の記述が掲載され、計画がほとんど進んでおらず危惧しています。
	また、JR木津駅と城山台地区を結ぶ骨格道路となる木津駅前東線の沿道一帯を、新旧市街地を結ぶ重要な地域に位置付け、田園環境との調和を図りつつ計画的な市街地形成に向けた検討を進めますとあります。そこで次の点を質問します。
	① 計画的な市街地形成に向けた検討を目指すとあるが、計画の見通しは。 ② 内水対策の課題解決に向けての考えは。
	(2) 木津駅東は現在、農振農用地であり、営農振興の対象地として位置付けられています。しかし今日の状況をみると、後継者の高齢化や農地へのアクセス道路の不整備、不整形な耕作地、生活排水が混入した農水路など農業経営を円滑に維持すべき環境が整っているとは言い難い状況が見受けられます。
	本年度当初予算にも計上されているように、木津川かんがい排水整備に府の補助金を投入して、受益対象地として農振地域の枠が外れなくなり、総合計画との整合性がないように考えます。今後、具体的にどのように取り組んでいくのか。また、いつまで農振地として続けるのか質問します。

(3) 木津駅東地域のまちづくりの根幹には住民・地権者の意識調査が必要と考えます。第2次総合計画の示す意識調査は、およそ10年前のもので、時代や社会情勢を鑑みた時、農業経営者の将来を見通した調査が必要と考えます。

先日、8月中旬頃に「JR木津駅東側地区のまちづくりについてのアンケート調査」が各地元住民と地権者に向けて実施されていますが従前のものと変わらず、果たして適正な意識調査となり、変化が汲み取れるのか不明であります。もう少し状況説明を加え、変化によって生じる課題を明白にしてアンケートを実施しても良かったかなと考えますがいかがでしょうか。

この結果を踏まえて地域住民と協議を重ね、計画を示し、まちづくりを進めてはと考え次の点を質問します。

- ① まちづくりに係る住民との意識との2分化は。
 - ② 東中央線、木津東バイパスなどが来年3月に供用開始になると思うが、木津駅東側の道路（駅東から向陽台に行く道）の整備が途中で頓挫している、今後の予定は。
- また、木285線、木52線の道路は狭隘で曲がっており、また水路もあり危険である。整備の予定は。これらの道が整備されてこそ、道路網となると考えるが。